

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		固定資産評価審査委員会運営費[固定資産評価審査委員会事務]												
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	事業番号	20			
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの												
担当部署・課長名		文書			課			法規			係	課長名	嶋田 淳	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。										施策番号		行	—	2
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現										総合計画書(ページ)		122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)								
	固定資産の評価額に不服があるために行われた審査の申出					審査の申出件数								
	→													
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)								
	審査の申出に対する公正中立な機関による審査の実施					決定件数/審査の申出件数								
	→													
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
	委員会による審査					審査の申出に対する決定件数								
	→													
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標							
			平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標						
対象指標	①の数値	件	0	0	0									
成果指標	②の数値	%	0.0	0.0	0.0									
目 標	②の目標値	%			100		100	100						
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)														
審査の申出があった事案は、すべて委員会による審査を行う。														
活動指標	③の数値	件	0	0	0									
3 経費	事業費(実績)		円	70,700	97,700	73,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)						
	財源	一般財源	円	70,700	97,700	73,000								
		特定財源	円	0	0	0								
		(うち受益者負担)	円	0	0	0								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.01	0.02	0.02								
		所要人数(再任用)	人	0.01	0.00	0.00								
		職員人件費(再任用以外)	円	82,400	166,200	167,600								
職員人件費(再任用)	円	38,920	0	0										
事業費+人件費		円	192,060	263,900	240,600									
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 令和3年度は固定資産の評価替え年度であり、審査の申出の可能性が高まっている。しかし、当市の審査の申出は実例が乏しいため、必要があれば、他市の審査の申出案件について情報収集を行う必要がある。													
	5 今後の方向性 仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 定期協議会の資料、その他関連資料を確認し、手続に関する理解を深める。													